

STOP AIDS ~12月1日は世界エイズデー~



12月1日は世界エイズデーです。最近では性の開放に伴って、エイズなどの性感染症が広がり、感染者の低年齢化が叫ばれています。感染を予防する知識が未熟であったり、危機意識の薄い方も多く、その結果感染してしまうという方が増えています。そこで、エイズに関してもっとよく知ることで、自分を、そして、パートナーを大切にしましょう。

どのように感染・発症するの？

- 性的接触…同性間・異性間どちらの性行為でも感染します。特に、出血を伴う行為は危険です。また、性器どうしとは限らず、いろいろな形の性行為によって感染する可能性があります。性感染症に感染することも、エイズに感染するリスクを高めることとなります。
- 母子感染…HIVに感染している母親から、血液や母乳を介して、胎児や新生児に感染します。上記などによりHIVに感染すると、潜伏期間を経て免疫機能を担う細胞が破壊され、エイズが発症します。潜伏期間は、5~10年で、この間に、症状はありません。しかし、人に感染させる力はあるため、気づかないうちに感染を広める可能性があります。

※HIVとは、エイズを引き起こすウィルスで、人の体内の免疫細胞に感染し、長い時間をかけて免疫細胞を破壊するウィルスです。

今、どのくらいの患者がいるの？

2007年末現在、日本では、累計13,842人のHIV感染者およびAIDS発症者が報告されています。しかし、感染に気づいていない方や検査を受けていない方などがいるため、実際には、この数の5~15倍の方がいると言われています。また、年代別には20代、30代が目立っており、男性が8割前後を占めています。こうした状況や潜伏期間が長いことから、10代後半での感染者が多くいるのではないかと考えられます。

感染するとどうなるの？

感染後、2週間くらいで風邪のような初期症状が出ますが、その後は症状が出ない状態が続きます。免疫力が低下してくると、発熱、体重減少、疲労などの症状が現れ、様々な合併症を起こし、全身の衰弱が目立ち始めます。そして、普段は抵抗力があるために、感染しないような感染症などにかかりやすくなります。

このような状態をエイズといいます。



こんなことではうつりません！

- 蚊にさされる
 - 風呂やプールと一緒にいる
 - せきやくしゃみ、汗、涙に触れる
 - 電話、電車のつり革に触れる
- HIVに関しては、強い偏見や誤解が多いようですが、HIVは感染力の弱いウイルスです。上記のようなことで感染することはありません。



エイズは治るの？

HIVに対する確実な治療法はまだ見つかっていません。しかし、発病を遅らせたり、発病した感染症を治す治療は進んでいます。また、検査や治療を受けるときは、パートナーに異常や自覚症状が無くても、必ず一緒に受けましょう。ただし、感染の可能性のある日から平均6~8週間、人によっては3ヶ月ほどの期間は、正確な検査結果が出ない場合があります。検査を受けるときは、少し期間を空けて受けましょう。

そして、まずは予防です！感染理由として最も多いのは、性行為によるものです。きちんとコンドームを付けましょう。最近では、女性用のものも市販されています。

相談や検査はどこへ行けばいいの？

愛知県衣浦東部保健所 ☎21-4778(代)

エイズ抗体検査 毎週火曜日 午前9時~午前11時・午後1時~午後3時
夜間エイズ抗体検査 毎月第1・第3火曜日 午後6時~午後7時
・匿名・無料で検査できます。

インターネットホームページURL

エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>
エイズに関する予防・啓発情報を掲載しています。

電話相談

財エイズ予防団 ☎0120-177-812
月~金(年末年始・祝日を除く)
午前10時~午後1時・午後2時~5時
専門の相談員が直接対応します。

JFAPエイズサポートライン ☎03-5940-2127
24時間電話自動応答システム・8ヶ国語対応

